

令和5年度 七ヶ宿町議会行政視察研修

実施日：令和5年8月8日から9日の2日間
研修先：福島県只見町議会・新潟県新発田市農業生産法人

【産業建設常任委員会】

研修テーマ：「スマート農業の効率的な取り組み」
視察研修先：新潟県新発田市「有限会社アシスト二十一」



アシスト 21 は新たな組織を立ち上げ、飼料高騰に苦慮している酪農家との連携で発酵粗飼料の生産にも取り組み、飼料や圃場の土づくりに取り組んでいました。我が町の農業法人にも他の団体との連携を密に永続的な農業の形づくりを期待します。

委員長 渡部 英幸

アシスト 21 での若者の農業従事者育成と大型農業機械を使用し、他の業種グループと手を組み仕事を進めていくことに農業の新しさを感じました。七ヶ宿の農業従事者も補助事業を大いに活用しスマート農業に取り組んでいく若者が増える事を願います。

委員 高橋 浩之

若い人たちが耕作放棄地を作らないように、耕畜連携で先人たちが守ってきた農地を引き継いでいることに感銘した。新しい取り組みにチャレンジしていくことを恐れない若さにうらやましさを感じた。

委員 高橋 茂美

集落内の6世帯が集落営農を立ち上げ機械の共同利用からスタートして経営面積72haのうち飼料作物7haを作付けし、畜産農家と連携して堆肥の有効活用をしていた。我が町も農地が整備され農業機械もそろっているので大いに期待するところです。

委員 今野 三喜男

【総務文教常任委員会】

研修テーマ：「住民に開かれた議会改革」
視察研修先：福島県只見町「開かれた議会改革への取り組み」



只見町議会では議会のICT化やタブレット導入に積極的に取り組んでおり、議会報告会も団体や組織におもむいて実施するなど、議員の資質向上などを強く感じられ、七ヶ宿町議会でも議会のICT化に向けた体制づくりを進めることが必要と思います。

委員長 五十嵐 敏夫

只見町議会では人口減少に伴い議員定数が削減され、議会の機動的活動が求められたことから通年議会を導入し、また、議会広報委員会ではタブレットの導入により委員会の機能的な改善を図っていました。当町でも早い段階で導入をすべきと感じました。

委員 吉田 修

只見町議会の視察で議員一人一人がしっかりと勉強している様子が伺え、七ヶ宿町議会も率先して良いところを学び、情報の公開、町民参加、行政監視、政策立案の強化などに併せて通年議会による重責を果たす取り組みが必要と感じました。

委員 高橋 きく子

只見町議会では早くから通年議会制を導入し、行政監視機能の強化や議場のライブ配信、各種団体との意見交換など開かれた議会改革に取り組んでおり、七ヶ宿町議会も民意の共有を図りながら政策提言できる議会改革を足早に進める必要性を感じました。

委員 菅原 研治